

令和7年度 横浜デジタルアーツ専門学校 自己評価表

評価については、適切...4 ほぼ適切...3 やや不適切...2 不適切...1 としている。

1. 教育理念・目標

	項 目	評 価	状 況 ・ 課 題 等
①	教育理念等を明文化しているか。	4	・高度な技術力の習得 ・プレゼンテーション能力の育成 ・豊かな人間性の涵養
②	教育理念等を教職員に対して周知徹底を図っているか。	4	職員室掲示。 非常勤講師には、講師ミーティングにて周知・配布(9/22・3/19)
③	教育理念等を公表しているか。	4	Web サイトにて公表。入学者および保護者には入学ガイダンスにて周知している。
④	教育目的・目標、教育計画が文書化され、提示されているか。	4	教育課程表、学科ループリック、シラバスを作成し、よりわかりやすい形で学生に提示している。

2. 学校運営

	項 目	評 価	状 況 ・ 課 題 等
①	理事会、運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的開催されているか。	4	理事会、岩崎学園管理職の会議、本校教務会議・募集会議・就職会議・学年会議・学科会議・グループリーダー会議・朝礼を開催。
②	事業計画が定められているか。	4	年度初に立案し、理事長承認。年4回の学園管理職の会議にて進捗報告をしている。
③	予算・収支計画は有効かつ妥当であるか。	4	年度初に立案。月次で支出状況を管理している。
④	就業規則等はあるか。	4	学園総務部にて、就業規則等の整備を行っている。
⑤	教職員一覧表（採用年、資格、年齢、学歴等記載）はあるか。	4	学園総務部にて、月次で更新。
⑥	業務分掌は適切か。	3	学生支援業務（就職・学費対応、メンタルケア等）、学生募集業務（少子化・進路検討早期化対応等）が年々増加しているため、業務の効率化、および専門家の採用が必要となってきた。R7年に教員3名増。
⑦	人事考課は制度化されているか。	4	夏冬賞与時、年度末実施。
⑧	出退勤が適切に管理されているか。	4	出退勤アプリにて出退勤の状況を月次管理。
⑨	公印が管理されているか。	4	使用都度「公印簿」に記載。
⑩	教職員の健康診断を実施しているか。	4	年1回実施（4月）。
⑪	情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	3	学籍管理、成績管理、証明書発行、学生募集等をシステム化している。H28年度より「学生募集管理システム」H29年度より「学習支援システム」、R3年度より「スタログ」を稼働。

3. 教育活動

	項 目	評 価	状 況 ・ 課 題 等
①	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	4	教育課程および授業時限数、学則は所管の神奈川県に提出。年間授業時間900時間（規定800時間）。
②	カリキュラムは事前に学生に周知しているか。	4	入学年次毎の教育課程表・科目毎のシラバスを年度初めの導入期間に入学・進級生に説明。その後もスタログから閲覧できる。

③	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4	文部科学省「職業実践専門課程」として「教育課程編成委員会」を実施（8/25・3/23）。これにより外部企業等との組織連携を担保している。 特別講義、前期発表会、YDA EXHIBITION に企業から講師を招聘し、意見をもらっている。
④	社会ニーズ・学生ニーズに即応できるカリキュラムとなっているか。	4	企業連携授業を積極的に実施。令和 7 年度 42 講座を実施した。 週 1 回選択授業「プラス α 講座」（3 コマ×5 週）を設定。必要に応じて年度途中でも特別講座を実施している。
⑤	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	試験や授業課題等の評点割合、評価点の算出方法等を各科目のシラバスへ明記し、授業を通じて学生へ周知している。
⑥	カリキュラム作成に高校生の現状を反映させているか。	4	学生募集イベント「体験入学」にて入学前の高校生に本校を知ってもらおうと同時にコミュニケーションをとることで、現状を確認している。入学試験では受験生全員に面接を課しており、個々の高校生活、本校での希望等を聞いている。
⑦	教員の採用について、専門性確保の観点から基準が設けられているか。	4	学歴、業務経験等、担当科目により基準を設けている。
⑧	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	4	前期・後期終了時に学生に対し授業アンケート実施。短期講座、特別講義等についても終了時に必ず学生からアンケートを回収している。
⑨	教員による自己評価が定期的に行われているか。	4	年度目標をグループ、個人毎に設定。中間、年度末に上長面談を実施している。
⑩	評価結果による教員面接・指導が行われているか。	4	非常勤講師は「授業運営チェックリスト」にて自己点検。「学生アンケート」（授業評価）も自己評価に使用。
⑪	先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成のための取組が行われているか。	4	業界状況を知るための研修は分野ごとに参加。指導力育成のための研修は、現状の学生指導の課題に合わせ参加している。
⑫	インターンシップを実施しているか。	3	各学科で企業実習・就業体験が増加、就業体験（38 件）。また企業からテーマをいただいて実施する企業連携プロジェクトを実施（22 件）。引き続き企業連携を強化していく。
⑬	コミュニケーション能力の向上に向けた取組を行っているか。	3	授業のなかに、グループワーク、アクティブラーニング、プロジェクト型学習を取り入れることで、メンバーの役割を果たしながら、コミュニケーションの能力の向上を図っている。 また、就職活動の対策として、外部講師によるコミュニケーション講座も開催している。
⑭	学習成果の発表を行っているか。	3	前 期 発 表 会（7/22,23）・YDA EXHIBITION（1/20~1/24）を実施。対面での作品展示、口頭発表をメインとして実施した。
⑮	教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4	Web サイト、インスタグラム、X にて公開。

4. 教育成果

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
①	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か。	3	学科毎の就職率、専門就職率を設定している。年間スケジュールにより学生の就職先希望調査を複数回行い、目標に向かう指導をしている。R7 年度就職希望者の内定 92%。

②	学生の就職に対する目標に対して教職員に共有されているか。	4	就職年次会議を月 2 回実施。各学年のグループライダー会議を月 1 回実施。 年間スケジュールに基づき就職指導を実施。
③	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	4	学生は就職活動報告フォームによりオンラインで報告書を提出。特設 Web サイトにて過去データを就職活動資料として閲覧可能にしている。
④	過去の就職活動の記録を活かした指導を行っているか。	3	
⑤	学生の就職結果に関して検証・報告を行ったか。	4	就職年次会議（月 2 回）、年度初めのキャリア担当との就職キックオフミーティングで前年総括。
⑥	就職実績を外部に公表しているか。	4	「就職実績一覧」、「入学案内書」にて公開。
⑦	資格・検定試験等の取得目標を設定したか。	3	学科により基本情報技術科試験、CG クリエイター検定、Photoshop/Illustrator クリエイター能力認定試験、色彩検定、Web クリエイター能力認定試験、ウェブデザイン技能検定、MIDI 検定受験、知的財産管理技能検定。学生の成長の可視化につながることから取得を必須化継続。通常の授業、選択授業、補講で受験対策している。
⑧	退学率の目標を設定しているか。またその成果は十分か。	3	年間目標 5%以下を設定。就職対策と同様、退学者防止対策を学校運営上の最重要事項。R7 年度実績 5.4%。目標を 0.4 ポイント上回り未達となった。主な退学要因としては、既往症（入学前からの持病等）の悪化に伴う通学困難や、入学後の学習ミスマッチに起因する意欲・モチベーションの低下など、体調面・メンタル面の不調が増加傾向にある。今後は早期発見・早期対応に向けた相談体制を強化し、退学率の抑制に努める。
⑨	退学率の低減策が教職員に共有されているか。	3	退学注意者の早期発見、個別面談、保護者面談、専門家によるカウンセリング）を実施。週次で担任からの欠席者・退学要注意者、および対応状況データを取りまとめ、教員で情報共有。
⑩	退学結果について検証・報告を行ったか。	4	検証をもとに対策・次年度目標を設定。レベル別指導、カウンセリング強化等の対策設定。
⑪	卒業生の社会的活躍や評価を把握しているか。	3	前期発表会、オープンキャンパス、学園祭等で卒業生を招き、トークセッションを実施。引き続き卒業生が集う学校づくりを目指している。

5. 学生支援

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
①	担任による面接・面談は定期的に行われているか。	4	状況により、面接・面談後→保護者面談・カウンセリングを実施し状況改善図っている。
②	メンタルヘルスについて相談できる専門家がいるか。	2	カウンセラー1名が週 1 日対応。相談件数の増加による予約待ちが発生するなど、今後の対策が必要。
③	就職・進路について相談できる担当者がいるか。	4	担任、学科担当者、キャリア担当職員が相談にあっている。
④	就職活動について、いつでも対応できるシステムがあるか。	4	特設 Web サイトにて、求人票、先輩の活動データなどの照会が可能。「就職ハンドブック」を配布。履歴書の書き方、面接マナーなど気になることをいつでも再確認できる。
⑤	学生の面接・面談の記録があるか。	4	全員への面接・面談のほか、年 4 回「アクションシート」記入で個別に適宜対応。 各学年会議にて、要注意学生についての報告内容を議事録に残している。

⑥	健康診断を定期的に行っているか。	4	年 1 回実施（4/9,11）
⑦	犯罪・薬物・消費トラブル等の指導を行っているか。	4	神奈川県警「薬物乱用防止講座」（6 月クラスごとに実施）。
⑧	災害発生時の指導を行っているか。	3	避難訓練・防災ビデオ学習（6 月・11 月クラス別）実施。
⑨	万が一の事故に備えて、保険加入しているか。	4	加入済。
⑩	災害時の帰宅困難者への対応はしているか。	4	食料備蓄・防寒対策済。 新横浜駅周辺混乱防止対策連絡協議会参加にて情報収集。
⑪	奨学金等の経済的支援があるか。	4	日本学生支援機構奨学金に対応、岩崎学園奨学金を整備。安易に奨学金を借りる（借り続ける）ことのないようにも指導（4・11・3 月面談実施）。
⑫	学費減免、学費分納制度があるか。	4	入学前および在学中に特待生試験等を実施し、成績・人物に応じて学費の減免を行っている。また、経済的理由等に応じた学費の分割納入（分納）制度を設けている。
⑬	保護者への情報提供は行われているか。	3	保護者への便りとして成績、出欠状況等を年 2 回メール送付。
⑭	同窓会はあるか。	4	「校友会」として活動。毎年 10 月に同窓会を実施
⑮	卒業生へ学校情報を提供しているか。	3	Web サイトにて情報提供。
⑯	クラブ活動を支援しているか。	4	スポーツサークル、イラスト部、ゲーム制作サークル、その他サークル活動を顧問、補助金で支援。 平成 27 年度より、学生の学外での活動（作品即売会への参加、コンサート主催等）に補助金支給。

6. 教育環境

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
①	教室の数・広さ、実習室の数・広さは教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	新学科開設に伴い新横浜 2 号館・3 号館の設備を改修、学生数・授業内容に応じて設定し利用している。
②	最新機能を備えた機器、実習室は整備されているか。	4	イラスト演習教室、DTM 教室、撮影スタジオ、体育館完備。学内常時インターネット接続可能。全学生にノート PC（ソフト）貸与。卒業時進呈。
③	自宅学習を奨励するための設備を提供しているか。	4	全学生ノート PC（ソフト）貸与。学科により Mac、Windows マシンを貸与することとし、仕事の現場にあわせた作品制作環境を充実させている。
④	教室以外に休憩スペースが適切に置かれているか。	4	2 号館 2 階に食堂（学生ホール）、8 階にラウンジスペース完備。3 号館は各フロアに休憩スペース完備。
⑤	食堂や運動施設など教育環境を補完する施設が整備されているか。	4	体育館、屋上コート、食堂完備。箱根研修所、岩崎ミュージアム（コンサートホール）所有。体育館は放課後・休日等、バスケットボールなどで学生に利用されている。
⑥	学生寮を保有しているか。	4	東白楽寮（女子）、業者提携学生会館完備。
⑦	防災・防犯・非常時の対応策が文書化されているか。	4	学園総務部との連携により体制化。「安全管理マニュアル」にて安全点検も実施。

7. 学生募集

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
①	学生募集計画が定められているか。	4	学生募集計画において、学科毎の募集人数、広報予算、利用広報媒体、参加進路説明会、オープンキャンパス等募集イベントを定め、実施している。進学資金や AO 入試の相談が増えていることを受け、それぞれの相談・説明会を追加実施。
②	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	4	「入学案内書」記載。
③	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか。	4	「入学案内書」記載。
④	学校案内等には学費・教材費が明示されているか。	4	「学生募集要項」記載。年度毎の教材費の変動を極力抑えるよう業者交渉を行っている。
⑤	学校案内等には入学者選抜方法が明示されているか。	4	「学生募集要項」記載。 指定校推薦、高校推薦、自己推薦、家族推薦、4年制特別推薦、一般、特待生（A・B・C・クリエイター・4年制特別活動実績）、AO。
⑥	入学に関する問合わせに適切に対応できる体制ができているか。	4	学生募集担当チーム（入学案内センター）が対応。
⑦	学校説明会において入学情報を提供できているか。	4	「作品見学&学校説明会」は年間を通じて開催。各回約 120 分にて、学科・カリキュラム・学生作品・設備・学費・入学方法を説明。
⑧	体験授業等で入学後の自分をイメージできるイベントを開催しているか。	4	「体験入学」は年間を通じて開催。 映像分野、漫画・イラスト分野、デザイン分野、ゲーム・CG 分野、音楽分野の分野別内容にて実施。
⑨	入学辞退者の授業料返還が適切に処理されているか。	4	「学生募集要項」記載。R7 年度生は辞退者 14 名。
⑩	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	3	入学前教育として AO 入試合格者を対象にプレスクールを実施。学校・学科の理解促進と、入学予定者同士のコミュニティ形成を図っている。入学直後には約 1 週間の導入教育プログラムを設け、スムーズな学校生活と学習のスタートを支援している。
⑪	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	3	入学ガイダンス（4/4）、導入教育実施。 R7 年度は、入学当初 1 週間程度の導入教育期間を設け、授業内容、学習方法、PC 操作などを指導している。

8. 社会貢献

	項 目	評価	状 況 ・ 課 題 等
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会が主催している高校生向け講座：「仕事のまなび場」（夏休み 5 講座）・「総合学科高校夏季公開講座」（夏休み 4 講座）、小中学生向け講座：「小中学生のためのチャレンジスクール」（夏休み 1 講座）を実施。 その他、中学校・高校より依頼を受けて、職業講話などを行っている。
②	学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか。	4	学外者と学生との事故も想定し、安全確保を図りながら、主に学校休業日に教室・体育館を貸し出している。
③	デザインやイラスト、音楽などのコンテンツ産業発展のために寄与するイベント等を主催しているか。	4	キャラクターイラストコンテスト（2 月）を開催。

9. 財務

	項 目	評 価	状 況 ・ 課 題 等
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	入学者の確保に努め、入学者変動を抑えながら、収益事業を展開することで財務基盤の安定を図っている。
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	人件費、広報費等の学園ガイドラインに従い、予算・収支計画を立案し、理事長承認後、執行している。
③	財務について会計監査が適正に行われているか。	4	内部監査、監事監査、監査人監査等の期中、期末の監査を実施していることで適正な監査体制が確立されている。
④	財務情報公開されているか。	4	学園 Web サイトにて財務情報を公開している。

10. 法令等の遵守

	項 目	評 価	状 況 ・ 課 題 等
①	法令や専修学校設置基準を遵守しているか。	4	所管の神奈川県へ学則変更等届出実施、現況調査（学生数・教職員数・卒業状況等）実施。
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	個人情報保護規程を文書化。「学生募集要項」記載。
③	自己点検・自己評価を定期的の実施し、問題点の改善につとめているか。	4	文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、本形式にて実施。学校関係者評価委員会にて報告、意見を求め、改善につとめている。
④	自己評価結果を公開しているか。	4	H25 年度より自己評価および学校関係者評価委員会報告書を公開している。
⑤	学校関係者による評価を実施し、問題点の改善につとめているか。	4	学校の専門分野における業界関係者、地元企業・団体、卒業生、高等学校関係者をメンバーとした学校関係者評価委員会を開催（8/25）。問題の把握と改善につとめている。
⑥	学校関係者による評価結果は公開されているか。	4	H25 年度より公開している。

令和 8 年 7 月 31 日実施

『専修学校における学校評価ガイドライン』（平成 25 年 3 月 文部科学省生涯学習政策局）の例示をもとに作成